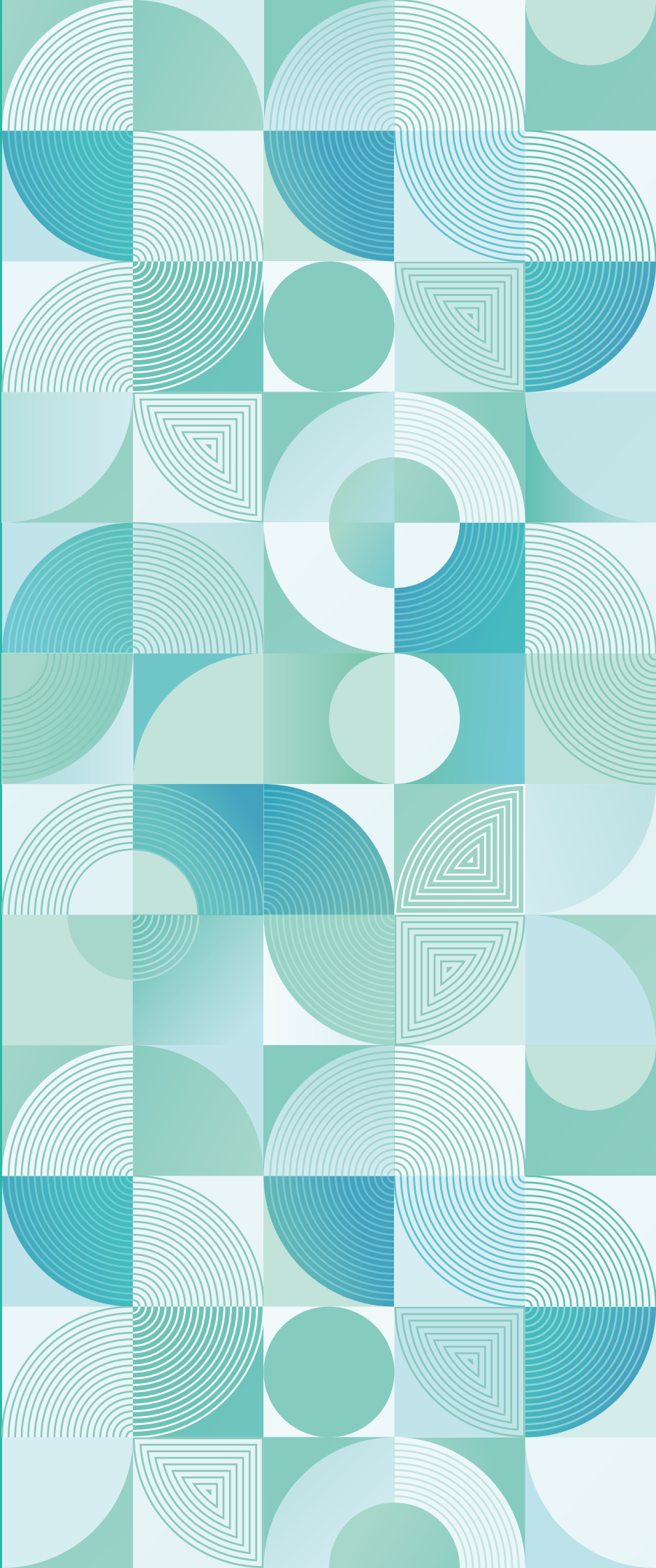


Division of Japanese Studies
2024

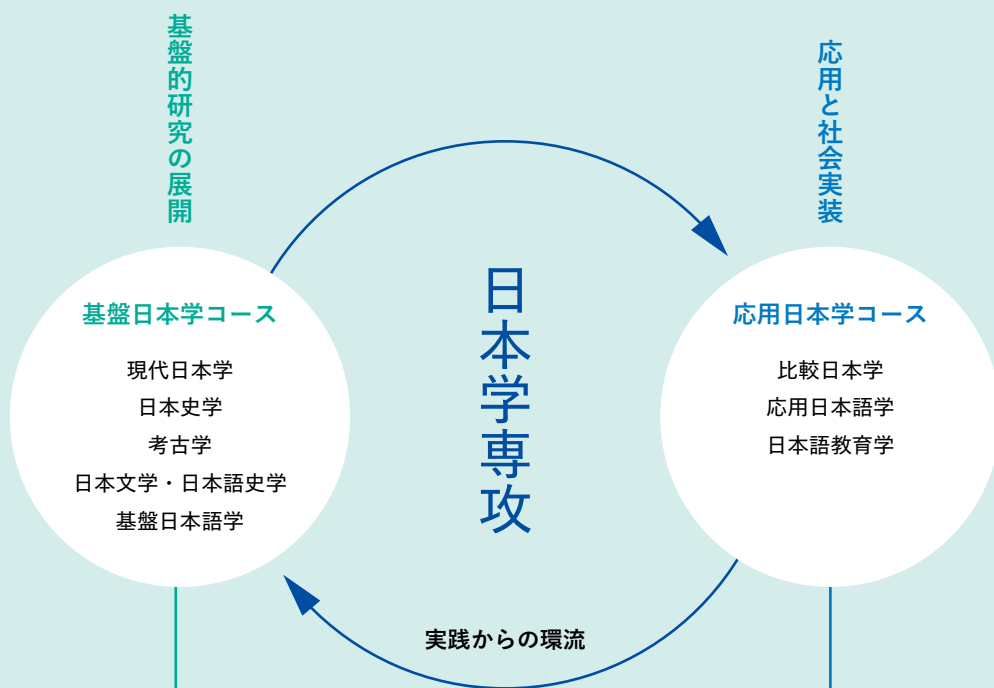
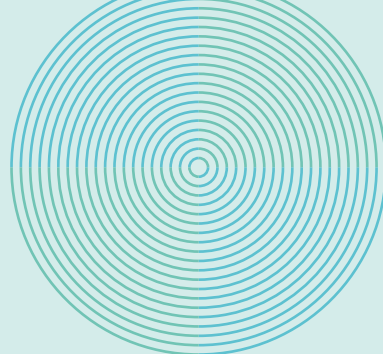
日本学専攻

大阪大学大学院人文学研究科



基盤的研究と応用的展開の双方をカバーする 日本最大規模の日本学専攻

5分野から成る「基盤日本学コース」と、3分野から成る「応用日本学コース」の2コースを擁する日本学専攻は、日本の言語・文化・社会・歴史・文学などを厳密に学問的な方法に基づいて深く探究するとともに、その専門的知見に基づいて日本の抱える今日的課題に果敢に取り組むことのできる人材を育成します。さらに、比較や交流の観点から日本を世界的視野のうちに捉え、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎としてグローバルに活躍できる実践力・応用力を養います。



豊中キャンパス



箕面キャンパス





日本学専攻の特徴

Point 1

日本学専攻は、基盤的研究と応用的展開をカバーする両コースの科目のほか、英語による専攻共通科目を設けて、研究発信力を強化したい学生のニーズに応えるとともに、大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」とも連携して、学際的学びの機会を提供します。

大学院等高度副プログラム
「グローバル・ジャパン・スタディーズ」



Point 2

日本学専攻は、全学組織「グローバル日本学教育研究拠点 (GJS-ERI)」と連携して教育研究を展開することにより、大学院生が学際的・国際的に活躍する機会を提供します。

グローバル日本学教育研究拠点



Point 3

日本学専攻は、20以上の教育研究機関が加盟する「国際日本研究」コンソーシアムと協力して諸事業を行うことにより、大学院生に多様な出会いと幅広い活躍の機会を準備します。

「国際日本研究」コンソーシアム



取得できる学位

基盤日本学コース

博士・修士（文学）

応用日本学コース

修士・博士（日本語・日本文化）



Department of Foundational Japanese Studies

基盤日本学コース

本コースは、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の5分野から成ります。ディシプリン・ベースの厳密に学問的な研究方法をしっかりと身につけながら、日本の言語・文学・歴史等について深く学ぶことができます。また、日本の文化や社会への現代的・学際的関心を幅広くカバーする多彩な授業も用意されています。基盤的研究能力を養いながら日本について深く広く学びたい方の期待に応えるコースです。なお、本コースの授業は豊中キャンパスで開講されます。



現代日本学

これまで日本文化の研究では、日本の固有性や特異性がことさら探究されてきました。しかし、日本という地域の歴史や文化、思想を孤立した特殊なもの、あるいは自明なものとするのではなく、一国史・単一文化の枠を外し、異質な文化との相互交流・摩擦の文脈を踏まえた比較や、フィールドワークに依拠した研究が求められています。現代日本学分野のゼミは、多くの留学生たちとともに、互いの文化を横断する、開かれた多様なディスカッションの場となることをめざしています。



専攻共通科目の授業風景

日本史学

近年の日本史研究の高度化にはめざましいものがありますが、本分野は演習での厳密な資料の読解や論文の検討を通して、精緻な実証力や独創的な構想力の養成に努めています。また、定期的に院生発表会を行って、時代や分野の枠にとらわれない幅広い視座やプレゼンテーション能力の育成に配慮しています。研究室では自主的な勉強会が盛んに行われ、学会活動も活発です。春と秋には研究室旅行があり、フィールドワークに汗を流し、夜のコンパでは大いに歓談し交流を深めています。



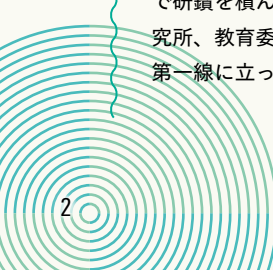
古文書演習の風景

考古学

本分野は、日本考古学に重点をおいた研究・教育を行っています。毎年実施する発掘調査とその資料整理を基礎とした教育を重視するとともに、考古学や人文科学の方法論の討論にも力を入れ、国際的視野にたつて日本考古学を推進しうる研究者の養成に努めています。この研究室で研鑽を積んだ多くの修了生は、すでに各地の大学、研究所、教育委員会、博物館などに勤務し、考古学研究の第一線に立って活躍しています。



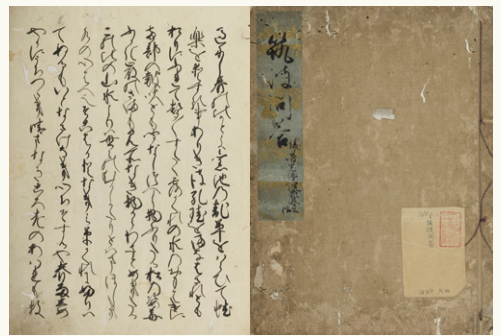
発掘調査の風景





日本文学・日本語史学

日本文学は、上代から近現代にいたる、各時代の日本の文学を研究の対象としています。個々の作品の詳細な読解をはじめとし、作家、時代思潮などについて、さまざまな方法によってアプローチします。日本語史学は、日本語の音韻、表記、文法、語彙などについて、上代から現代までの文献を使い、通時的・共時的に研究します。日本文学・日本語史学とも文献による実証を重視しており、文献を多角的に読みとる姿勢を養うために研究活動をともにしています。



含翠堂（土橋）文庫所蔵『筑波問答』写本

基盤日本語学

本分野では、主に、現代日本語学、社会言語学、語用論の各領域の研究を行っています。現代日本語学では日本語の文法、語彙、音韻等の記述的・理論的な研究、社会言語学では日本語の多様性とそれに伴う言語問題の社会的な研究、語用論では、会話分析、言語とジェンダーおよび言語社会化といった観点からの質的な研究をそれぞれ目標とし、全体としてグローバルな視点から日本語と日本語社会の特質を解き明かそうと努めていることが本分野の大きな特色です。



日本語学関連書籍



応用日本学コース



本コースは、比較日本学、応用日本語学、日本語教育学の3分野から成ります。視野を世界に広げながら日本について深く学び、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎として日本と世界を結ぶ力を養います。日本の言語や文化や社会について深く学びつつ、グローバルに活躍できる実践力・応用力を身につけたい方の期待に応えるコースです。このコースには、4月入学の実践トラックと10月入学の専修トラック（留学生のみ）を設けていますが、どちらのトラックでも上記の内容を同じように学ぶことができます。なお、本コースの授業はOUグローバルキャンパス（箕面キャンパス）で開講されます。多くの留学生とともに学ぶことができる点も、本コースの特長の1つです。

比較日本学分野

比較日本学分野に所属する教員の専門分野は、文学（古典～近代）、仏教思想史（近世・近代）、国際文化交流史（近現代）、日本政治外交史（近現代）、民俗学、など、多種多様です。日本における西洋古典の受容に関する比較文学的研究、妖怪文化の国際比較研究、近現代日本の国際文化交流史といった、比較の視点や多様な文化との相互作用に重点をおいた研究も行われており、学生は日本文化・日本文学を多角的に研究することができます。



高知の祭礼におけるフィールドワーク

応用日本語学分野

応用日本語学分野では、主に、日本語を言語学的に研究しています。教員の専門分野は、広義の文法に属する音韻論、形態論、統語論、意味論だけでなく、音声学、語用論、社会言語学、歴史言語学など多岐にわたります。理論的オリエンテーションやアプローチも、対照言語学、認知言語学、生成文法、類型論、コーパス言語学、フィールドワーク、実験など様々で、学生は日本語を幅広く研究することができます。



タイ・マヒドン大学でのDDPの学生指導

日本語教育学分野

日本語教育学分野では、日本語の文法や談話、会話の研究など、日本語教育への応用を見据えた基礎研究から、年少者への日本語教育やバイリンガリズム、さらには異文化間コミュニケーション研究やアイデンティティ研究など、幅広いテーマでの教育・研究を行っています。タイのチュラーロンコーン大学へのインターン派遣など、日本語教育の現場に立つ機会も設け、国内外の日本語教育機関や学校教育現場で活躍する日本語教育者の養成に力を入れています。



日本語教育学のゼミの様子

日本学専攻の国際展開とグローバル・ネットワーク

応用日本学コースでは、10月入学を制度化して海外から直接受験できる入試を実施し、またタイのマヒドン大学とダブル・ディグリー・プログラムを運営することなどにより、多彩で優秀な留学生の獲得に努めています。さらに、海外の大学に日本語教師のインターンを派遣するとともに、大学院生が海外の大学で現地の大学院生と協働して国際会議をオーガナイズする機会を設け、教育のグローバル化を図っています。前身の言語文化研究科日本語・日本文化専攻の修了者を含め、日本学専攻のalumniはグローバルなネットワークを形成しており、本専攻の国際展開の基盤となっています。



世界で活躍する日本学専攻の alumni

- ① イギリス [1名]
- ② フランス (パリ第7大学、国際交流基金バリ日本文化センター 他) [3名]
- ③ ベルギー [1名]
- ④ ドイツ (ボーフム大学、アウグスブルク大学、デュッセルドルフ大学 他) [7名]
- ⑤ チェコ [1名]
- ⑥ スロヴェニア [1名]
- ⑦ クロアチア (翻訳業) [1名]
- ⑧ ポーランド [1名]
- ⑨ リトアニア (ヴィリニユス大学) [1名]
- ⑩ スウェーデン (イエーテボリ大学) [1名]
- ⑪ フィンランド (ヘルシンキ大学) [1名]
- ⑫ エジプト (カイロ大学 他) [3名]
- ⑬ アゼルバイジャン [1名]
- ⑭ キルギス (オシュ国立大学) [1名]
- ⑮ モンゴル (モンゴル国立大学) [1名]
- ⑯ 中国 (復旦大学、大連理工大学、華東理工大学、吉林大学、大連外語学院、四川外国語大学、北華大学 他) [37名]
- ⑰ 韓国 (慶州大学、延世大学、昌原大学、慶尚大学、高校日本語教員、韓国外語大学 他) [15名]
- ⑱ 香港 (香港大学、大幸薬品、香港大学SPACE 他) [7名]
- ⑲ 台湾 (開南大学、永漢日本語学校) [2名]
- ⑳ フィリピン (フィリピン大学 他) [2名]
- ㉑ ベトナム (ハノイ大学、日越大学、ダナン外国語大学 他) [5名]
- ㉒ カンボジア (プノンペン大学) [1名]
- ㉓ タイ (泰日工業大学、タクシン大学、ブラバー大学、パヤップ大学、ランシット大学、チェンマイ大学 他) [35名]
- ㉔ ミャンマー (岡山大学日本留学情報センター) [1名]
- ㉕ マレーシア (マラヤ大学、国際交流基金、日本語教員 他) [7名]
- ㉖ シンガポール [1名]
- ㉗ インドネシア (インドネシア教育大学、ガジャマダ大学 他) [5名]
- ㉘ U.S.A (グアム大学) [1名]
- ㉙ オーストラリア [2名]
- ㉚ カナダ (トロント大学、カピラノカレッジ 他) [5名]
- ㉛ U.S.A (ミネソタ大学、東ミシガン大学 他) [8名]
- ㉜ メキシコ (国際交流基金メキシコ日本文化センター) [1名]
- ㉝ エクアドル (アンバト技術工科大学) [1名]
- ㉞ ペルー (ペルー・カトリック大学) [1名]
- ㉟ ブラジル (CALJ Treinamento e Ensino de Idiomas) [1名]
- ㊱ アルゼンチン (日本語学校 他) [2名]



タイ・チュラーロンコーン大学での日本語教育インターン



教員一覽

基盤日文学コース

現代日文学分野

宇野田尚哉 UNODA Shoya	教授	日本思想史
北村 毅 KITAMURA Tsuyoshi	教授	文化人類学、沖縄研究、オーラルヒストリー、オートエスノグラフィ
中嶋 泉 NAKAJIMA Izumi	准教授	美術史、フェミニズム理論
安岡健一 YASUOKA Kenichi	准教授	日本近現代史、オーラルヒストリー、地域史
秋山かおり AKIYAMA Kaori	助教	日系人史、民間人・戦争捕虜収容研究、ハワイ・沖縄

日本史学分野

市 大樹 ICHI Hiroki	教授	日本古代史
伴瀬明美 BANSE Akemi	教授	日本中世史
古結諒子 FURUETSU Ryoko	准教授	日本近代史
野村 玄 NOMURA Gen	准教授	日本近世史、天皇・朝廷・将軍・幕府・神格化
北泊謙太郎 KITADOMARI Kentarou	助教	日本近現代史、軍隊と地域社会・近代戦争と民衆・歴史認識論

考古学分野

高橋照彦 TAKAHASHI Teruhiko	教授	日本考古学、飛鳥・奈良・平安時代
福永伸哉 FUKUNAGA Shinya	教授	弥生時代・古墳時代の考古学

日本文学・日本語史学分野

岡島昭浩 OKAJIMA Akihiro	教授	日本語史・日本語学史
岸本恵実 KISHIMOTO Emi	教授	日本語学史、キリシタン、宣教師の日本語研究、辞書
斎藤理生 SAITO Masao	教授	日本文学、日本近代文学、昭和文学、太宰治、織田作之助、新聞小説
滝川幸司 TAKIGAWA Koji	教授	日本文学・平安時代文学・和歌・漢詩文・和漢比較文学
渡邊英理 WATANABE Eri	教授	日本語文学、批評、批評理論、思想文学、近現代日本文学、戦後文学
浅井美峰 ASAI Miho	准教授	日本中世文学、連歌、古注釈、和歌
北崎勇帆 KITAZAKI Yuho	准教授	日本語史、日本語文法史・文体史
宮本祐規子 MIYAMOTO Yukiko	准教授	日本文学、日本近世文学、近世小説、近世演劇
仲 沙織 NAKA Saori	助教	日本文学、近世文学、浮世草子

基盤日本語学分野

渋谷勝己 SHIBUYA Katsumi	教授	日本語学
高木千恵 TAKAGI Chie	教授	日本語学、方言学、社会言語学
バーデルスキー、マシュー BURDELSKI Matthew	教授	語用論、会話分析、言語社会化
三宅知宏 MIYAKE Tomohiro	教授	日本語学・言語学
眞野美穂 MANO Miho	准教授	日本語学・形態論・語彙意味論・類型論
新谷知佳 SHINTANI Chika	助教	日本語学・日本語教育

応用日文学コース

比較日文学分野

岩井茂樹 Iwai Shigeki	教授	日本文化史
五之治 昌比呂 GONOJI Masahiro	教授	比較文学
柴田芳成 SHIBATA Yoshinari	教授	日本古典文学
佐野方郁 SANO Masafumi	准教授	日本近現代史
永原順子 NAGAHARA Junko	准教授	宗教民俗学、伝統芸能、祭礼、怪異伝承の研究
松村薫子 MATSUMURA Kaoruko	准教授	日本民俗学
水野亜紀子 MIZUNO Akiko	准教授	日本近代文学

応用日本語学分野

今井 忍 IMAI Shinobu	教授	日本語の形態論に関する認知言語学的研究
岩井康雄 Iwai Yasuo	教授	日本語音声学・音韻論
岸田泰浩 KISHIDA Yasuhiro	教授	言語学：統語論、言語類型論
荘司育子 SHOJI Ikuko	教授	日本語学、統語論
中田一志 NAKATA Hitoshi	教授	現代日本語文法、日本語文法教育
山川 太 YAMAKAWA Futoshi	教授	理論言語学
村田真実 MURATA Mami	准教授	四国方言、音韻論、日本語教育、方言学、社会言語学、日本語、音声学、方言、徳島方言、アクセント
山泉 実 YAMAIZUMI Minoru	准教授	言語学、意味論、語用論、哲学、指示参照ファイル理論
鴻野知暁 KONO Tomoaki	講師	日本語史、日本語文法、コーパス言語学
松浦幸祐 MATSUURA Kosuke	助教	日本語学・認知言語学

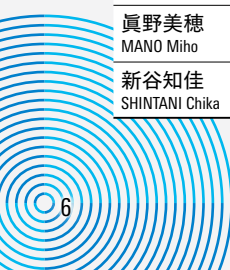
日本語教育学分野

小森万里 KOMORI Mari	教授	日本語教育学、ライティング教育、日本語学習者のための日本語文法
筒井佐代 TSUTSUI Sayo	教授	日本語教育学、会話分析
櫻井千穂 SAKURAI Chihō	准教授	年少者日本語教育、第二言語習得、多言語教育
高井美穂 TAKAI Miho	准教授	日本語教育学・会話分析
立川真紀絵 TACHIKAWA Makie	准教授	日本語教育学、異文化間コミュニケーション
藤平愛美 FUJIHARA Manami	准教授	日本語教育学（ICT教育、ブレンデッド型学習の教材開発）

国際交流センター兼務

ランプレクト、ニコラス LAMBRECHT, Nicholas	准教授	近代日本文学、戦後文学、引揚げ、国際日本研究、比較文学
東条佳奈 TOJO Kana	講師	現代日本語学、名詞、助動詞、実践医療用語

(2024年4月1日現在)



入試情報

基盤日本学コース（4月入学のみ）

博士前期課程（定員30名）

秋期試験（一般選抜・社会人特別選抜）

出願時期	試験
8月中旬頃	9月下旬頃

冬期試験（一般選抜・外国人留学生選抜）

出願時期	試験
12月初旬頃	2月初旬頃

博士後期課程（定員13名）

秋期（社会人特別選抜）

出願時期	試験
8月中旬頃	9月下旬頃

冬期（一般選抜・外国人留学生選抜）

出願時期	試験
12月初旬頃	2月初旬

詳細は、「日本学専攻基盤日本学コースをめざす方へ」
でご確認ください。

<https://lt.hmt.osaka-u.ac.jp/ja/fjs/for-prospective>



過去の入試問題は、こちらで閲覧することができます。

<https://lt.hmt.osaka-u.ac.jp/ja/fjs/admissions/exam-guide/kakomon>



応用日本学コース

博士前期課程

4月入学：実践トラック（一般・社会人・留学生）

出願時期	試験	定員	
前年度の6月初旬から中旬	8月初旬	7名程度	合計10名
前年度の11月下旬から12月初旬	2月初旬	3名程度	

10月入学：専修トラック（留学生のみ）

出願時期	試験	定員
同年度の4月～5月初旬	6月中旬	若干名

博士後期課程

4月入学（一般・社会人・留学生の区別はありません）

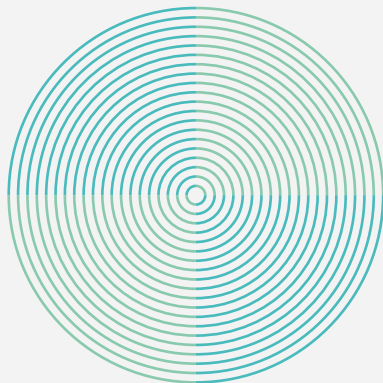
出願時期	試験	定員
前年度の11月下旬から12月初旬	2月初旬	5名

10月入学（留学生のみ）

出願時期	試験	定員
同年度の4月～5月初旬	6月中旬	若干名

詳細は、「応用日本学コース 入試情報」でご確認ください。

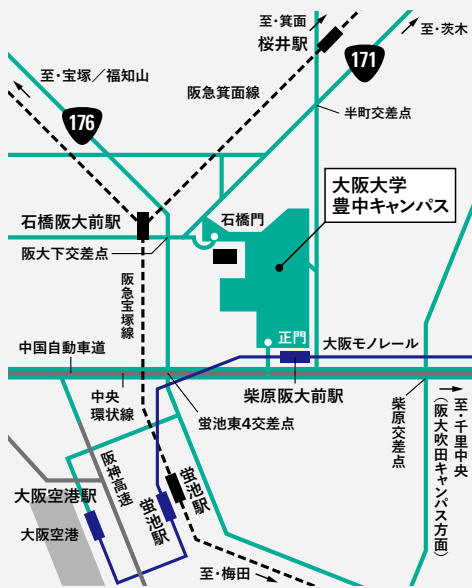
https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_ls_info.html



アクセス

[豊中キャンパス]

基盤日本学コース



〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

- ◎阪急電車宝塚線
「石橋阪大前」駅（急行停車）下車 東へ徒歩約15分
- ◎大阪モノレール
「柴原阪大前」駅下車 西へ徒歩約10分

[箕面キャンパス]

応用日本学コース



〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10

- ◎北大阪急行線
「箕面船場阪大前」駅下車 東へ徒歩約3分
- ◎阪急バス
「新船場北橋」下車 徒歩約5分

